

香川県立ミュージアム

新しい展示がはじまります

新たに収蔵した資料をお披露目！！

新収蔵品展を開催します

香川県立ミュージアムでは、歴史、美術および民俗に関する資料・作品を収集しています。購入、寄贈、寄託などにより収集される資料は、展示などで活用されるほか、香川の歴史や文化芸術を知る資料として研究の対象となるものが多数含まれています。

本展では、平成30～令和2年度に収蔵したこれらの資料の中から、未公開のものを中心に、計57件57点を展示し、ミュージアムの資料収集の成果をご紹介します。

- 会 期** 令和5年8月4日(金)～9月24日(日)
開館時間 9:00～17:00
入館は閉館の30分前まで
休 館 日 月曜日(9/18は開館)、9/4～14、19
- 会 場** 香川県立ミュージアム(高松市玉藻町5-5) 常設展示室4・5
- 展示点数** 57件57点
- 観 覧 料** 一般410円 団体(20名以上)330円
高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料
- 関連行事**
 - ミュージアムトーク(担当による展示解説)
日時 8月13日(日)、9月17日(日) 各日13:30～30分程度
場所 常設展示室4・5 *申し込み不要、観覧券が必要
 - 学芸講座「ミュージアム・コレクションをひも解く！」(当館職員)
香川県立ミュージアムが収蔵するコレクションがどのようにして形成されたのか、資料収集の意義などを各回2本立て、全3回の連続講座でお話します。
日時 第1回 8月19日(土)「始動するコレクション—コレクションの成り立ち」
第2回 9月2日(土)「成長するコレクション—核となるコレクションを育てる」
第3回 9月16日(土)「熟成するコレクション—時を経て深まるコレクション」
各回13:30～15:00(13:00開場)各話40分程度
場所 香川県立ミュージアム 研修室(地下1階)
参加料 無料
定員 各回72名(先着順)
申込 電話、電子自治体システム(申し込み開始 第1回 受付中/
第2回 8/2～/第3回 8/16～)

(裏面に続く)

7 主な展示品

いしけいどう ついしゆすずりばこきくほうおうのず
石井馨堂「堆朱硯箱菊鳳凰之図」 大正 15 年 (1926)



高松出身の石井馨堂 (1877~1944) 作の硯箱。「堆朱」とは朱漆を何層にも塗り重ね、それを彫って表す技法。鳳凰の背景には、大胆に掘り下げ、細かな青海波を表現することで、立体感が生まれている。

やまおくぬめい ゆうらんせん
山尾薫明「セーヌの遊覧舟」 昭和 7 年 (1932)



山尾薫明 (1903~1999) は、昭和 7 年から同 9 年までヨーロッパを游学しており、パリを流れるセーヌ川の遊覧船をモチーフに描いた。パリの暗然とした天気の中に鮮明な色彩を配し、都会の華やかさを印象づけている。

さかきばらしきぶのたいふまさすけしよじょう
榊原式部大輔政祐書状 江戸時代 **榊原政祐→松平頼豊宛**



姫路藩主榊原政祐から高松藩主三代松平頼豊に宛てた書状。世子・頼治の精進揚 (精進落とし) と寒中の見舞いとして、粕漬のカガミダイ (魴) を贈ることが記される。高松松平家と交流関係があった大名家を知る上で有用な資料である。

※展示資料はすべて当館蔵